

「令和5年度魅力ある県立学校づくり大賞」：優秀賞

技を生かして、地域に寄り添う ～地域とともに歩む学校を目指して～

千葉県立千葉工業高等学校

本校は、昭和11年4月、千葉県で最初にできた工業高校で、本年で創立87周年を迎えます。所在する県中央地域には、京葉工業地帯が広がっています。全日制の課程は、工業化学科、電子機械科、電気科、情報技術科の4学科に、平成28年度に新設された理数工学科を含め5学科で構成されています。定時制の課程は現在、工業科の1学科で機械と電気の2つのコースに分かれて日々学んでいます。

本校が今回「魅力ある県立学校づくり大賞」へ応募した内容は、千葉県誕生150周年記念に際して製作したカウントダウンボードの紹介や、ハノイ職業訓練短期大学等との国際交流の様子、企業と連携した実践的なキャリア教育への取組や、地域貢献として取り組んだ出前授業等をまとめたものです。

<取組み概要>

2、3学年生徒4人で取り組んだカウントダウンボードの製作過程は、NTT東日本の協力の下、ドキュメンタリー動画として編集され、これらの取組は千葉日報、NTT東日本の広報などに掲載されるとともに、千葉テレビでも放映されるなど、大きな反響を呼びました。

また、工業化学科と情報技術科の生徒が近隣のコミュニティセンターに出向き、ものづくりの魅力や大切さを近隣の児童へ教える教室に取り組んできました。このような「ものづくり教室」では、自分が作った作品が設計どおりに動いて喜ぶ児童を前にして、指導した生徒が自信をつけて頼もしく成長していきます。

近隣の保育園と保育所では、連携事業としてロボットの操作体験やレゴブロックの組み立て、タイヤ付き椅子の操縦体験などを行っています。保育園児は、この出前授業を毎年とても楽しみにしてくれているようで、授業が終わる時間まで目一杯楽しんで遊んでくれます。本校の生徒も、園児たちと非常に充実した時間を過ごしています。

近年、小学校でもプログラミングを授業に取り入れています。環境整備などが思うように進んでいないという現状を伺い、本校情報技術科のレゴマインドストーム(ロボット制御の仕組みが学べる教材)20台を活用して、小学校の先生と共にプログラミング体験授業に取り組んでいます。

海外交流としては、「JICA草の根技術協力事業(ベトナム)」をきっかけに、グローバル人材育成の一環として、ベトナムのハノイ職業訓練短期大学と姉妹校協定を締結し、平成20年度から生徒を現地へ派遣するなどして交流を深めてきました。

以上のような様々な取組に参加した生徒からは、「すごく勉強になった」「もっとやってみたい」など、感動の声が多く上がっています。また「来年はやるの?」「楽しかったからもっと続けたい」などの声も聞かれます。

今後は、外部機関や地域との連携をこれまで以上に深め、工業高校の特色を生かしながら新時代の教育活動の実現に取り組んでいくことで、さらに発展させていきたいと思えます。

本校は、これからも地域のために積極的に取り組んでまいります。御期待ください。



本庁ロビーでの「カウントダウンボード」除幕式



「はんだ付け」を教える本校の生徒(右)